

市長が行く

No.138

上総・下総地域の発展に向けて

茂原市長

田中豊彦



先日、県の県土整備部の方が茂原市を訪れ、その中で、3つのインターチェンジ周辺の振興等について意見交換をしました。現在県内でも3つのインターチェンジを持つ市はほかにあまりないように思います。先月号でも書きましたが、茂原市が転入超過になっっていることの一つの要因

であるようにも思われます。ここ数年は大雨による災害、コロナへの対応など、負の出来事への対応に多くの時間を割いてきましたが、少しでも前向きな明るい事業に向かつていけることは、私としてもうれしいことです。インターチェンジ周辺への新規企業誘致や、アミューズメントパーク、農業と一体となったサイエンスパークなど、未来を見

据えいろいろな意見交換をさせていただきました。令和6年度には圏央道（大栄から松尾横芝間）が本格的に開通予定であり、さらに利便性が増してくる中で、来年には外房有料道路が全線無料になり、ここ茂原市は交通の要衝としてのさらなる発展が期待されます。

また、その後の長生グリーンライン建設促進を図る団体の総会で、長生グリーンラインを延伸し、外房グリーンラインとして内房の館山自動車道との合流を目指し、外房内房環状道路に将来的には持っていきたい旨を述べさせていただきました。ここ房総は昔から、外房と内房の行き来が不便で、その不便さがこの地域の発展を阻んできたように

思います。まずはいすみ市、勝浦市の市長の同意を得て長生グリーンラインの延伸を要望していく予定です。外房道路網は、今は内房に比べて取り残されているように思います。ここを少しでも前進させることで、上総・下総地域の発展につながっていくものと確信しております。

道路網の整備は、大規模災害においても大きな役割を果たします。東日本大震災の時もそうでしたが道路網の整備は多くの人命を救い、また復旧作業にも大いに役立っていました。いつ来るか分からない災害に備えるためにも、今まで取り残されてきた茂原市を含む外房地域発展のためにも、一日も早い道路網の整備が求められています。